

10月は「3R推進月間」および「グリーン購入キャンペーン月間」です

# はじめよう！今日からできるエコライフ



誰もが暮らしやすい環境を次の世代に残していくことは、私たちの責任であり義務です。ごみを減らし、持続発展可能な循環型社会を構築していくためのキーワードがReduce（リデュース：減らす）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再資源化）の頭文字をとった「3R」で、実践にはこの順番が大切です。

普段の買い物の中にも、地球環境のことを考えて商品などを購入する「グリーン購入」など3R推進のために実践できるさまざまなことがあります。皆さん「地球にやさしい社会」をつくる一歩を踏み出してみましよう。

まずは **Reduce** (減らす)

第1のRは、リデュース、つまり資源の消費を減らすことです。レジ袋や割り箸など無意識の消費が大量のごみを発生させる大きな原因となっています。

- ◆ごまめに買い物袋を持ち歩きましょう。
- ・マイバッグを持参して、ごみ減量のためレジ袋を断りましよう。

- ◆包装はできるだけ少ないものを選びましよう。
- ・包装の少ない商品、過剰包装を断ることでごみを減らせます。

- ◆商品は長く使えるものを選びましよう。
- ・流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買おうように心がけましよう。

次に **Reuse** (再使用)

第2のRは、リユース、つまり何回も繰り返し使うことです。

- ◆繰り返し使えるものを選びましよう。
- ・たとえばリターナブルびん、充電式の乾電池などは環境にやさしいといえます。

- ◆壊れたら修理しましよう。

- ・電気製品のわずかな故障や少し壊れた家具などは修理して使いましよう。

- ◆リメイク・リフォームしてみましよう。
- ・不要な服で子ども服やカバンなどを作ってみる。物を修理したり形を変えたりしながら最後まで使いついで長く暮らしましよう。

最後に **Recycle** (再資源化)

最後のRは、お馴染みのリサイクル、ごみの再資源化です。ごみを原材料として再生利用するのです。

- ◆ごみの分別をしっかりと守りましよう。

- ・ガラスびんは溶かして新たなびんに。牛乳パックはトイレットペーパーに。ペットボトルは合成繊維に再資源化できるよう、可燃ごみに混じらないようにしましよう。

- ◆再生品など、資源やエネルギーを浪費しないものを選びましよう。

- ・再生紙や再生プラスチック素材を使った商品が増えています。積極的な購入が、資源の有効利用につながります。



## グリーン購入とは

「グリーン購入」とは、商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入することです。

「グリーン購入」をすすめることは、ライフスタイルを環境にやさしいものに変えていくだけでなく、商品を提供する企業に環境への負荷が小さい製品の開発や環境に配慮した経営努力を促すこととなります。一人ひとりのグリーン購入は、世の中を変える大きな一歩なのです。

### ◆環境マークの一例

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <p>エコマーク</p>  <p>環境に配慮した製品につけられています。</p> | <p>グリーンマーク</p>  <p>原料に古紙を使用した製品につけられています。</p> | <p>省エネマーク</p>  <p>省エネ基準を達成している製品につけられます。</p> | <p>牛乳パック再利用マーク</p>  <p>使用済の牛乳パックを原料とした商品につけられます。</p> |
|---|--|---|---|

◆問い合わせ先 住民課 生活環境交通担当 ☎②6578 有線⑥7784